

第9日日本高齢者虐待防止学会 神戸大会 ご案内

大会長: 臼井 キミカ

会期: 平成 24 年 7 月 14 日(土)

会場: 甲南女子大学

メインテーマ「共に支え合う虐待防止の地域づくり」

日 時: 平成 24 年 7 月 14 日(土) 8 時 30 分 (受付開始) 9 時 30 分から 17 時

会 場: 甲南女子大学 (〒658-0001 神戸市東灘区森北町 6-2-23)

参加費:

参加申込時期	会員	非会員	学生	シニア	懇親会費
6月15日まで	5,000円	5,500円	2,000円	1,000円	3,000円
当日参加	5,500円	6,000円	2,500円	1,500円	3,500円

* 市民講座は参加費無料です。

宿泊先・交通チケットの手配:

宿泊先・交通チケットは、各自で手配していただきますようお願いいたします。

日本高齢者虐待防止学会 (JAPEA)

第9日日本高齢者虐待防止学会神戸大会のお知らせ

第9回日本高齢者虐待防止学会神戸大会を、甲南女子大学（所在地：神戸市）で開催いたします。メインテーマを、「共に支え合う虐待防止の地域づくり」として、シンポジウムⅠ・Ⅱ、教育講演Ⅰ・Ⅱ、特別講演、一般演題発表等を企画しました。

シンポジウムⅠは理事会との共同企画であり、テーマを「東日本大震災と高齢者の人権擁護」としました。東日本大震災から1年を経過しようとしています。震災の被害の影響を受けやすいのは高齢者であり、それも心身に障害を持った高齢者ほどその影響が大きいことが様々な研究から明らかになっています。阪神・淡路大震災や東日本大震災で高齢者が置かれていた実態や、復興のプロセスから私たちは何を学んだのか、高齢者等のいわゆる弱者からみたまちづくりのあり方など高齢者の人権擁護の視点から何が課題なのかを考えます。

シンポジウムⅡは、広く一般市民の方々にも参加していただけるように市民講座（参加料無料）にしました。テーマは「認知症高齢者の虐待を防ぐまちづくり」です。多くの人々に認知症高齢者への理解を深めていただき、認知症高齢者が安心して住み続けられる地域づくりを目指して、私たち一人ひとりに何が期待されているのかを先駆的な取組をもとに考えます。なお、市民講座は二部構成であり、第一部がシンポジウムⅡであり、第二部は講演です。第二部では、高齢者虐待での被害者は高齢者であると共に、介護者（養護者）も支援を必要としていることに鑑み、心身が傷ついた対象者に対して、バイオフィードバックによる癒やしの試みとその効果について、講演していただきます。

教育講演Ⅰでは昨年の「市町村における高齢者虐待防止体制の強化と評価のあり方」の第二弾として、「評価ガイドとシステムづくり」をテーマにしました。また、教育講演Ⅱでは内閣府が平成23年に全国1,750市町村を対象に実施した「セルフネグレクト状態にある高齢者実態調査」から明らかになったことを報告していただきます。

最後に、特別講演では、法律家にどのように関わっていただくことが効果的な支援につながるのか、高齢者虐待防止に関わる職種が持つべき視点について、弁護士の立場から講演していただきます。

以上のように魅力満載の神戸大会です。多数のご参加をいただき、活発な発表と意見交換・交流の場になることを願っております。

第9回日本高齢者虐待防止学会神戸大会

大会長 臼 井 キ ミ カ